



心臓が鼓動するよりも何倍も愛している…。

I Breathe Out| You Breathe In| The Same Air| Of Loving アイ・アム・オール

あなたの世界を彩る色

…私のため、あなたがたのため、そして私を愛する者たちのために

Filipe Alexandre de Andrade Sá Moura
Filipe@FilipeMoura.com

サンクライター運動 #サンクライター

シャドー

影の間を舞う夜の姿。神秘と静寂、動きの詩。

私の心臓の絶え間ない鼓動のように、私はあなたを無限に愛している。すべての鼓動は愛のメロディーであり、魂に響く永遠のシンフォニーである。

私は息を吐き、あなたは息を吸う。私たちは同じ空気を共有する...愛の。

私はあなたの彩るすべての色...私のために、あなたのために、そして私を愛する人たちのために。

ある日、あなたは私の心に根を植えた...。今日、それは人生への愛という名の木だ。それは決して根こそぎにされることはない、私の中に生きているのだから。

変圧器

現実を一変させるきらめく力のバランス。魔法は細部に宿り、変化は一瞬一瞬に現れる。

電気パネル：普遍的な電流のシンフォニーを編成する目に見えない指揮者。

太陽の光：母なる地球の隠された深淵を照らす魔法。

ルミナスファウンテン 生命

の雫が降る、

運命の源で、道を照らす。

灯台

光は絶え間なく回転し、まるで異常のダンスのようだ。

心臓の感電音に合わせて神経が踊り、すべての鼓動が物語となり、すべての瞬きが宇宙となる。

思考の波は、海のように寄せては返す。波打つように、円形に、無限の波の上で踊る。

波の海に流れ込むエネルギーの川のように、体内の電気を感じる。粒子のダンス、潮流のシンフォニー。

ビートを刻むたびに、まるで風に舞う木の葉のように、生命の電氣的な鼓動を感じる。

真実は太陽のようなもので、衝動的に発見されたときに明るく輝く。自分自身を誠意の力で照らそう！

静寂の中で輝く存在。嵐は静まり、静けさの中に光を見出す。

光り輝く口ウソク、溶けた口ウに照らされた痛み。色褪せながらも、その痕跡を残す感情。

電気ドアは、触ると柔らかいが、開く前に閉まる。電気チェーンソーは憎しみの根を切り、闇のエネルギーで振動する。この力を平和と調和に変えられるように。

一筋の光が記憶を消し去り、発光する煙に変える。心が明晰さを求めて電気が宙を舞う。

無限の電磁気の間を踊りながら、電磁気の乱れで心がざわめく。宇宙のエネルギーは脈動し、目に見えない謎を明らかにする。

私たちが麻痺させ、心を振動させるエネルギー、電光。混沌の中で瞑想し、雷の中で平和を見出す。

悪魔のような光が舞う、
それぞれの存在が輝き、星が瞬く。私たちに夢を
与える断続。

絶えることのない思考のように、光は果てしなく点滅する。人生の流れは途切れることなく流れ、私たちはその断続の中に安らぎを見出そうとしている。

不透明な光、黄昏に舞う存在。ミラボランツは暗闇の中で輝き、夜の謎を解き明かす。

電気振動

エネルギーの糸が私の中を踊り、活気に満ちた身体が同調し、宇宙と私をつないでいる。

第10 電気回路

私は登り、前進し、エネルギーは失われていく。

感情の嵐！ 一滴一滴が詩となり、雷鳴が詩となる。

鋭い光のエコー、

声が割れ、輝く。静寂を包む光。

きらめく闇の中で、歩く者たちはその目の導きによって輝いている。彼らは内なる光に導かれて歩く。

蛍光 花は咲き、散り、雷は宙を舞う。

「影を落とす

稲妻は燦然と輝き、快楽と視線を眩惑し、感覚は光のダンスに包まれる。

深い弧が絡み合い、ダイナミックで白熱した衝撃を持ち続ける魂の白熱。

Electrocutable: tinge that hammers the incongruities of the

強く決然とした光に訴えかける。電気が魂の道を照らすように!

私は黄昏の鋭い光に包まれ、そこで私の存在は柔らかさを見出す。別れを告げるときの太陽の抱擁のように。

新しい夜明けの回想! 私は光り輝く一日の中で目覚め、闇を後にする準備が整った。光のパワーで、コンステラー・コミュニティ全体に力とエネルギーを広げます。

プレゼンスライト

安らぎと瞑想の瞬間に寄り添ってくれる柔らかな光。それは魂に栄養を与える存在であると同時に、静寂の中で魂に挑戦する存在でもある。

レッド・ライト

赤い光が輝き、神経を遮断し、
自分の中の平静を加速させる。

アイデアの衝突、水平線への船出。目的もなく、衝動もなく、航海する心。それらは潮のように広がっていく。

影を感じさせず、光を感じさせない、同伴者のような光。私たちが気づいていなくても、私たちに寄り添ってくれる光。

雷が空を舞い、快楽に飢えた咆哮が静寂を打ち砕く。雷鳴のひとつひとつが嵐の予感であり、力のシンフォニーである。

強力な光

明るい光が判断を下す、
暗闇の中で失われた命、無教養な声がこだまする。

強力で裂傷的な光線は、ことのできない絆を切断する、
私たちに挑戦する自然の力のように!

フロストライト

心の影では、大量の光線が理性
を曇らせる。

強烈な光

霧が舞う、

輝くブラックライトの下で、インテンシティ。

ルミナス・コズミック

魂の忘却を癒す、浸透する深遠な宇宙のように。宇宙の光に包まれ、あなたの存在の道を照らそう。

光には、最も暗い瞬間でさえも癒す力がある。すべてが絶望的に思えるとき、光は私たちを日常生活の恍惚とした流れへと導いてくれる。絶望の雷がダイナマイトの稲妻に変わり、輝く未来への道を照らしてくれますように。

光と動きによって癒され、私は厳しさの内臓を残した。しかし、この光はいるのだろうか？ 両極、両極端のエネルギー…。

私は暗い影ではなく、前向きで癒しの光に触れた。感情の明瞭さが、即物的で衝動的な黄昏時を照らす。不透明な移り変わりはなく、純粋な感情だけがある。

その光は強烈で、逆らう者を焼き尽くすだろう。人生の興奮と快楽に加われ。いつか光は消えるが、鋭い青光線のように才能を持ち続けよう。暗い考えから自分を解き放て。輝けるうちに輝け！

私たちの内側では光が輝いているが、嵐や雷もある。私たちを暖め、時には燃え上がらせる炎。困難に立ち向かい、言い訳に意味を見出すためには、このエネルギーが必要なのだ。

私たちの中にある光と雷、私たちを養う純粋なエネルギーと炎。人生は儚い光と、私たちを試す試練でできている。私たちは、私たちを導くエネルギーに力を見出す。

エネルギーなくして光はなく、すべてのものは独自の流れで振動している。存在の本質は私たちに挑戦し、時には理解しがたい謎を突きつける。エネルギーは衝撃を与えるのではなく、光を消そうとする。しかし、光は常に姿を現す。

時の静寂の中で、ブルーレイの光が姿を現し、五感に浸透する。明晰な思考、固まった意見。ネガティブなエネルギーもポジティブなエネルギーも、彼女を脅かすことはない。

エネルギーはすべての人を歓迎し、光の速さで、カットや障壁なしに移動する。ポジティブであれネガティブであれ、誰もが感じる権利を持っている。

知恵と狂気の境界を踊り、エネルギーと欲望に躍動する黒いファイスカ。あなた自身の光で無限に触れれば、熱狂した灰のような、燃えるような微笑みが見えるだろう。

宇宙の四分円の中で、ブルーレイは穏やかさをもって滑空し、気晴らしとストレスの道を照らす。分別を持ってエネルギーと光子を導き、短絡を避ける。活発で衝動的なそのスピードは、光のスピードではなく、ブルー・レイそのもののスピードである。

エネルギーの移り変わりの中で、私たちは今を生きることを妨げる力に直面する。雷は鳴り響くが、その音波は見かけほど強力ではない。

光と影のダンスでは、現実隠され、幻想的な輝きによって見えなくなっている。しかし、影の中では、想像力が目には届かない道を照らす。

ブルーレイの怒りが私の魂を貫き、偏見と不寛容を崩壊させる。純粋なエネルギーが気孔から溢れ出し、道を照らす。このブルーレイが私たちを導いてくれますように！

人工光

私たちが作り出す光は、恥ずかしげもなく複雑さに絡め取られた、作為のダンスだ。シンプルさは失われたのか？

レーザー光

夜の静寂の中、光が差し込む。目に見えず、強烈で、知覚できないものを貫く。

導きの光は、最も暗い岐路に立ったときでさえ、見えないものを明らかにしてくれる。目に見えないが力強く、偏見や毒に満ちた考えを吸い込み、癒しへと変える。その輝きがいつも私たちを啓発してくれますように！

屋根裏の光、舞う煙、ぼろぼろになった記憶。思考は狂い、遅く、まとまらない。心は冷め、行動はためらわれる。

その瞬間の無為の中で、心は脳の光と電気刺激の間で踊る。彷徨いながら、今という流れの中にインスピレーションを見出す。

体躯の魔法、催眠術のような光が輝き、ナンセンスな韻文が踊るように。混沌の美、瞬間の詩。

屋根裏部屋の明かりが輝き、記憶と思考を照らす。それぞれの頭は、折衷的なルーツと設計された夢を持つ宇宙である。屋根裏部屋を探検してみたいものだ。

魂の屋根裏部屋で光り輝く記憶、永遠に開かれた記憶、あるいは閉ざされた記憶。

稲妻だ！

空が輝き心臓が高鳴る瞬間。光が闇を切り裂き、悲鳴のような静寂をもたらす。儂くも力強い瞬間は、自然の力、そして私たち自身の存在を思い出させてくれる。

雄弁なうめき声と怠慢な行動の間で、意識を消し去るあの稲妻。動かず、私は世界の次の稲妻を待つ。

光の灰

熾烈で強力なアイロンの熱で、あなたに印をつける灰。過去と未来からの光の灰に汚染され、遍在する。

忘れず、降伏せず純粋に反抗する！

一瞬の静寂の中で光が踊り、記憶が言葉の川のように流れる。自分をコントロールすれば、光への渴望は詩へと変わる。

灼熱の灰が心の中で踊り、欲望に口笛を吹く磁性体。男らしい顔と官能的な顔、2つの顔があなたを挑発する。あなたは、選ばず、完璧なフュージョンとなる。

この光の灰は暗闇を暖め、食い荒らされた雨から守ってくれる。それは時を超えた抱擁で大陸に広がっていく。

快樂の光の中で

光が侵入し、贈り物となり、秘密の快樂を明らかにする。化学的な不安、座りっぱなしの快樂、しかし停滞はしていない。素朴な顔に印刷され、存在、感覚、感情を照らす。

燦然と輝く奇跡的な太陽の光の間を舞うエモーション。私たちを新たな地平へと誘い、五感が出会い、感覚の海に身を任せる過剰な喜び。

光のダンスの中で、ためらうことなく進む中毒に煽られ、快樂が花開く。否定するように揺れるルーズな髪が、その瞬間の狂気を謳歌する。

催眠ライト

肌の表面で感じる感情、私たちを導いてくれる光への中毒願望。それは魂に活力を与え、存在する輝きを信じさせてくれる。

信用も負債もなく、私たちはそれに導かれている。催眠術のような人生は、魅惑的な快樂を求める超越的な存在である私たちを誘惑する。私たちの髪と眉毛の間を中毒が踊り、慎みと怠惰を孕んでいる。

私たちを導く光の中で超越し、思考に挑戦する。

純粋な反応、燃える欲望。光は私たちを養い、導く。緩んだ石が集まり、粘土が燃え上がる。

強烈な光

ワイヤーもチェーンもなく、身体の間を舞う光。それは日常の落胆の中で輝き、魅了し、滋養を与える。スイッチを切っても、その力は持続する。

消えることなく、変容する光。

サイケデリックな雷が空を舞い、混沌と絡み合う。雷鳴のひとつひとつに異常性が振動し、私たちがこの色と音の嵐の一部であることを思い出させてくれる。

コヒーレントな光は鱗のない輝きを放つが、異常な黒い雷が感覚の奥底でうなる。秘密はなく、ただ謎だけがある。

快楽と偏見が交錯するサイケデリックな光の世界では、斜めの色彩が停滞する。ここでは創造は眠り、耽溺は逡巡する。誰が航海に出る勇気があるだろうか？

思考の断片の中に、私たちは平穩を見出す。乱れない世界を夢見ることは、目を掻くようなものだ。一瞬のことだが、必要なことなのだ。

異質な動き、あなたは遠い星のように輝き、心を粉碎する。単純な存在に気づかず、宇宙を揺るがす。

サンダーはサイケデリックなスペクタクルであり、決して現れない霊を追い払う。噂と横暴がブギーマンのように踊る並行現実。ここでは、奇妙な個性や前世からの同族を餌にする者はいない。すべてはありのままであり、たとえそれが実在しないとしても。

現実とは時間のない物語であり、そこでは恐怖が既知の次元を超えて私たちを運んでくれる。多角形と目に見えない線が、超越的で神智学的な思考の半球をなぞる。

それは抽象的な理性のフィラメントの上で花開くものでも、成長するものでもない。アイデア

衝動、見たもの、覚えた文字から生まれる。模倣とその場への適応の動き。すべて意識的に実現され、計算されている。

かつて賢明な頭脳が君臨した黄ばんだ記憶のページでは、過去の響きは消えつつある。書物愛好家たちは物語をむさぼり読み、時代遅れの記憶者たちは怯える。測定とラベルに囲まれながら、アビシニアンは人生を謳歌し、アビシニアの雷は笑いとともに鳴り響く。

過去の光の中で、彼方からのこだまが古代の秘密をささやく。天体は目の前の現在を踊り、時間が幻想であることを思い出させてくれる。私たちは、昨日の知恵をもって今を生きるよう促されている。

過去の光の中で、タイムトラベラーは古代の魂と出会う。現在は過去が踊る舞台であり、それらは共に永遠の瞬間を創り出す。

人生は光でできている。これらは私たちを照らすエネルギーだが、過去にも、すでに過ぎ去った瞬間にも当てはまらない。今を輝かせよう！

すべてが光であり、多かれ少なかれ輝きを放つが、常に強烈だ！過去も、過ぎ去った瞬間も、ここには居場所がない。今を照らそう！

過去の光は影を落とすかもしれないが、今、私たちが灯すことを選んだ新しい炎の輝きを消すことはない。

過去はささやくように現在に触れるが、今輝く光を消すことはない。一瞬一瞬が純粋なエネルギーの宇宙なのだ。

毎日が、私たちを取り巻く純粋で力強い光に照らされる機会なのだ。意図することなく、ただ存在すること、輝くことの喜びを中心に回りながら、風に身を任せよう。

電流の力は私たちを導き、シンプルな視線を通して強烈な光を伝える。過去からの光、古代の生活からの放射線、しかし常に動いている。一瞬にして、カチツと音がして、光は

鋭く危険だ。過去の記憶を這い回る羨望と憎悪の目を燃やす。天体にまわりつき、永遠に輝き続ける光。

放射線は課題だが、私たちの内なる光は輝く！ 汚染することなく、恐れることなく、一瞬一瞬を照らそう。ポジティブな電流を流そう！

私たち誰もが持っている光は、黄色い太陽光線のようにユニークで輝きがある。より強い光はなく、想像力と純粋なエネルギーの魔法だけである。私たち一人ひとりが光り輝く創造物であり、発展と創造を渴望している。

私たち一人ひとりが、ユニークな光、色とエネルギーに満ちた光り輝く魔法を持っている！ 強い光も弱い光もない。私たちの想像力と意志が、ソーラーイエローの色合いで輝くこの純粋な光の燃料なのだ。

光線と影のダンスにおいて、意識は見えないものが見えるようになる舞台である。私たちを照らすのは光だけではなく、私たちを目覚めさせる理解なのだ。

実際、光は乏しく、目に見えないもののバランスをとる存在の病巣があるだけだ。見えないものは現実ではないのか？ それは私たちの意識を目覚めさせる強力な光線の結果なのだ。しかし、そもそも意識とは何なのか？

意識と無意識の謎は、目に見えないバリアのようなものだ。どんなに理解しようとしても、私たちは皆、現在の瞬間に向かって進んでいる。

人生という道では、障壁は過去の影にすぎない。その先に目を向ければ、地平線は無限であり、可能性は実在する。偏見を超越し、ありのままの自由を受け入れよう。

欲望と無意識の光の間に障壁はない。鎖？ 幻想だけだ。天空の生き物たちは過去の光の中で踊り、私たちの意識の中では現在が展開している。

地平線に舞う、触れることのできない光。それを形作るのは誰なのか？宇宙からのため息のように、消えていくのをただ見守るだけだ。

自然光

私たちを導く光ほど純粹なものはない。葛藤や耽溺は、道を照らす影にすぎない。意識的な態度は蓄積されるが、すべてが自然であるため、光はない。

自然と光の間に対立はない。自然が私たちを取り囲み、安心感と落ち着きを与えてくれる。夏の日のおよ風のように、すべてが普通に穏やかに流れていく。

空気、それは私たちを取り囲む自然の喜びであり、宙を舞い消えていく。軽さのパフを評価する方法を知っている人のための、優しいタッチ。

原子カライト

私たちを照らし、深い変化をもたらす強力な源。この核の力を感じさせる心理的変異。私たちに影響を与え、形成する変容。

活気に満ちたエネルギーの光は成長し、孔雀のように私たちの衝動に浸透する超越的な存在を照らし出す。突然変異はそれに影響を与えるのではなく、私たちをその行為へと導く。

放射線の動的衝動において、光はその最大指数として輝く！核エネルギーは修正し、崩壊させるが、決してバランスを崩さない。変容こそがその強さなのだ！

向精神薬ライト

魔法のように宙を舞い、私たちを魅了し、現実を一変させる光。良い願いだが、このファンタジーの世界から戻ってくると、悪い前兆となることもある。

向精神薬の光のダンスの中で、現実溶けていく。官能的な次元に惑わされ、私たちは未知のエッセンスを吸い込む。

心の奥底では、隠された次元が向精神薬の光とともに踊っている。現実を狂い、否定に美を見出す

酸素供給の。散発的なエピソードは、自然が軽いことを示している。

雷、光の中の苦い亀裂、地球を激怒させ、養う。アモルファス、透明な光、私たちは生き残る。

天体の中の難民、苦みが彼らの家だ。彼らは抑えきれない怒りを、光と力の溶岩に注ぎ込む。彼らを駆り立てるこの力は何なのか？

闇を焼き払い、存在の光を育む。エネルギッシュな雷のマグマを浴びる者には、極悪非道な停電など何の力もない。光り輝くビームの中の幸福、その本質におけるユニークな存在。

ジェネレーター・ラブ、欲望に火をつける火花！絡み合うエネルギー、透明なキス、電気
の絆。

私たちは朝食や夕食といった日常生活の中で、隠れたエゴや個性を養っている。水を一口飲むごとに、その日を迎えるエネルギーが湧いてくる。

仮面をつけず、愛の現実の中で、透徹した視線が孤独を。決して切れることのない、真実で朽ちることのないエネルギーに支えられている。いつも！

渴いた目、単調な間で踊る欲望。斜めの顔、瞬間の電気の中の緩んだ糸。発明された忍耐、動きの詩。

無限のイマジネーションの世界へ飛び込もう。現実のエンジンが、存在することと存在しないことの狭間で踊っている。瞬間的な接触は私たちを生命に結びつける糸だが、意識はほとんど触れない微妙な現実がある...しかし、それらは探検されるのを待っている！

今」の流れの中で、その手段が水っぽくなったり、生成的な愛のアイデアに陥ったりすることはない。常に警戒を怠らない真の愛は、自らが生み出す喜びを疎外することはない。それは、あなたが押しとどめようとした魂の顔の中で増殖する。

エネルギーは多文化ダンスであり、仮想現実と想像上の現実を統合する。私たちは反射体であり、私たちの中に光り輝くドラゴンを隠している。中性子が私たちの道を照らしてくれますように!

私たちを貫くエネルギー、私たちを活気づける生命的な流れ! 私たちは輝く存在であり、光と影の二元性の中を歩いている。抑圧は私たちを止めない。私たちは動く力なのだ!

痛みが隠れる心の奥底にこそ、変容への鍵がある。自分にポジティブさを与え、目に見えない壁を超えよう。この旅はあなただけのものなのだから。思考の磁気の波に乗って、心を踊らせよう。

思考の伝達は、感覚という時間を超えた空気の中を流れる、目に見えないエネルギーの川のようなものだ。私たちは皆、βブロッカーだが、生きることの渴きを覚えている。その流れが、私たちを隠れた快楽へと導いてくれますように!

心をかき乱す衝動の中で、思考の対立が嵐のように現れる。しかし、電撃的な幸福は雲を突き抜けて輝く。門の興奮が、私たちを外部の現実へと導いてくれるのだ。

ブルーライト

それは感情を誘発し、橋や梯子を越える。感情の力を利用し、それを糧とする。それは、私たちを変容させる気骨ある潜在能力を開発する。

透明な友情の美しさを歓迎し、より青く、より強烈なものを切望する。電波によって疎外された深い感情の星座を発展させるために。

永遠の友情のターコイズブルーの中で、斜に構えた心。狂気と快楽が魔法の束となって踊る、稀有な美の恋人たち。

青い黄昏、居心地の良いエネルギー。それは仮面ではなく、喜びを強める光だ。それは、永遠の友情に限界はなく、その中に身を置く人々に影響を与える。

たそがれの強さのフィラメントの中に、居心地の良いエネルギーが浮かび上がり、悪や
快楽から守ってくれる。欺く仮面ではなく、現実と想像を強める青い光。身を委ねる者
は、限りない友情を見出す。

彼女は恋に落ち、熱狂的な感情に身を委ねる。欲望と快楽は熱量となり、魂を青い光で照ら
す。エネルギーは蓄積され、流出していくが、保護する光は残り、永遠の現在へと導いてく
れる。光り輝く快楽の進化は制御できないが、常に存在する。

電気ケーブル

希望を煽る電線のように、不安の流れが振動しているのを感じる。動きは麻痺しているが、
思考は加速している。緊張は高まり、縛り付ける。

人生という梯子の上で、私たちは瞬間や動きを分類しながら、上り下りする。光は私たち
を導いてくれるが、段差には気をつけよう！誰もがエスカレーターに従うわけではない。そ
れでいいのか、それともバランスの問題なのか。

人生のダンスでは、バランスが重要だ。すべての人が下降に値するわけでも、上昇を助ける
わけでもない。努力を受け入れ、忍耐し、犠牲を払って上昇せよ。どんな怪我にも負けるな
、思考の光が待っている。

強さのバランス、人生のバランス。誰もが私たちの下り坂や上り坂のサポートに値するわけ
ではない。忍耐が鍵だ。傷つくことなく、犠牲の精神に立ち上がれ。考える存在の光があな
たを待っている。

旅路の着実な一歩、屈する力はない。希望を胸に、私たちは生命のパワーケーブルにた
どり着く。地球に栄養を与えるエネルギー。

エフェルヴェッセント・ライト

落ちては広がり、光の枝、達成不可能な欲望。現実を前にして崩れ去る発泡性の幻想。

散発的な狂気の中で、愛のほとばしる欲望は拡大し、汚染し、支配する。愛のエネルギ
ーの交換は

魂を照らす不変の光。

照らされた空は、完璧なバランスを求める私たちを鼓舞する。星はその輝きで思考を動かし、願望を現実に変える。

星々が永遠の光のシンフォニーを奏でる、きらめく空ほど美しいものはない。宇宙のパワーは、変化と相互作用への意志によって啓発された私たちの魂の中にある。星々の感触が私たちの思考と夢を魅了するように。

エネルギーは炎のない煙のように散っていく。融和と結晶化した感情によって活力が窒息するのを見るのは悲しいことだ。政治的便宜の仮面が本質を隠している。

純粋なエネルギーの魂よ、自らを魔法に変えよ！ 事実の真実と変化が絶え間なく続く、流れのない心の上を飛べ。誰もが経験するサイクルだが、恐怖と苦しみの道には決して進まない。

風のように自らを解き放ち、春のように広がり、生命の突然変異を経験する、
変化を原動力にしよう。

生命の光

情熱は狂気へと突き進み、愛し愛される本能が生まれる、
私たちを癒す永遠のサイクル。

情熱と失望が心の中で踊る。幻想は栄えるが、真実の愛は霧を払う太陽である。私は偽りを超越し、心の道を見つける。

愛の分野で、私たちは本当の自分を発見する。愛するということは、なぜ自分が愛されているのかを理解することであり、その愛に応えることでもある。

フィーリング。それは $1+1=1$ 、論理を超越した結合のダンスだ。

数字の宇宙的ダンスでは、 $1+1=2$ が数学的真理である。しかし、愛の芸術においては、心、価値観、態度が調和して初めて、和が意味を成す。バランスが羅針盤となり、統一が人生の羅針盤に響く旋律となりますように。

真理を快楽の源泉として理解するのも一つの方法だが、真の自由は個人主義的なあるのだろうか？

人生とそのステージを振り返って...。私は論理的だろうか、それとも非論理的だろうか？時々、私はバカだと思ふことがある。人工的な尻の時代に、誰が判断を下すのか？自分で結論を出そう。

人生のダンスにおいて、狂気は仮面にすぎない。即断即決の世界で、真の賢者は混沌の中に平穩を見出す。

多くの人を愛してきた...それなのに？ 私たちは決して完全ではない。私たちはいつも、より多くの愛、より多くの愛を切望している...

愛とは、理性が失われ、狂気が隠れ家を見つける野原である。私たちは自由な鳥であり、脆弱性と操作の雲の中を飛んでいる。私たちの翼がハートの真実に導かれますように。

愛の道に、私たちは人生の知恵を見出す。愛することは権利であり義務であり、私たちの存在を照らす光です。涙を流すことなく、愛情と自発性をもって愛し合おう。愛が私たちを力となりますように！

天空の舞台で、太陽が踊る、

ビーム、あなたの芸術が届く。純粋なエネルギー、今日の母、
宇宙はあなたの魔法に拍手を送っている。

遠い地平線で、愛の光は見ることはできないが、感じることはできる。それは触れることによって、活力を与えるエネルギーによって広がっていく。愛の方程式が大きくなりますように： $1+1+1+1+\dots = \text{無限}$ 。

愛の分野では、磁力が踊る。誘惑は欲望を引きつけ、心は一瞬一瞬を知り、味わおうと切望する。

太陽の光と暖かさ、一筋の光に宿る力。キスで分泌される唾液、共有される感情。誕生パーティーでの喜び。年月は流れ、歳は進む。老いは忍耐をもたらし、忍耐は達成となる。犠牲と痛み、医者による治療。健康は活力、流れるエネルギー。力と無力、挫折と苦しみ。転倒はめまいをもたらし、狂気のめまい。病院での狂気、入院と剥奪。もう1日生きたいという願望。

人生の旅路において、勝利への意志は絶え間ない戦いである。私たちは内なる戦い、喪失、そして孤独に直面する。しかし、世界の嘘や残酷さにもかかわらず、私たちが真実を見出すのは創造と発明の中なのだ。罰と叱責は、バランスと安全を求める私たちを形成する。病気という不安定さと異常さは私たちに試練を与えるが、私たちは警察と自らの決意に守られながら戦い続ける。

精神医学とセラピー、幻想と現実のダンス。看護師がモルヒネを投与する間、私たちは不安と恐怖と戦う。人生のレースはアドレナリン競争だ。勝者とは、あらゆる疑問に満足を見出す者である。好奇心は魂を養い、喜びは究極の報酬である。

罪悪感と自由が正義の中で踊る。正直が輝き、真実が照らし出される。目に見えないものが想像の中で現実となる。創造性は飛翔し、夢は休息する。静けさが支配し、穏やかさが持続する。止まれ。

人生の道では、それぞれのシンボルにそれぞれの物語がある。鉛筆からゴムへ、タイヤから道路へ、私たちは旅を続ける。変遷は絶え間ない。私たちは活動し、変化し、規模を拡大する。言葉やフレーズは、世界における私たちの表現である対話を構築する。自然の中に、私たちはエネルギー、光、見出す。青い光線が私たちの道を照らしてくれますように！

エネルギー再生

満足を不満に生きる、繁栄の光、
私はあなたの彩るすべての色を持っている。

麻痺する光

行動が私たちを動かし、変容させるのに、なぜ立ち止まるのか？感情と感覚は生命の鼓動である。反応し、反応することは、理解するためのダンスである。忍耐と知性は他者を理解する鍵である。対立しよう、しかし心を込めて。

それは、私たちを麻痺させるエネルギーを解放するのか、しないのか、という問題だ。答えのない子供のように、私たちは未知の世界に立ち向かう。勇気よ、友よ！言葉は命令だが、誰が理性を判断するのか？何が正常か誰が決めるのか？結局、誰でもない！

私たちは皆、暗示をかけ、欺くハーブのような信念を持っている。沈黙は行動であり、甘えではない。話すことの2倍聞くこと。沈黙に抵抗しなさい。落ち着いて、自分の中の沈黙に耳を傾けなさい。

ある日、雷が落ちたら...破壊的で騒々しいだろうか、それとも明るく美しいだろうか？予想外の力、一瞬の美しさ。

それぞれの光線は、私たちと同じようにユニークだ。それぞれが独自の光を放ち、独自の行動をとる。もしそれが光線であるならば、それは独創的なものだろう。

私たちと同じように、それぞれの光線にはそれぞれの道筋と行動がある。一瞬のうちに、すべてが変わってしまう。私たちは運命に影響を与えることができる。

運命と信念を振り返る...ダイスが投げられる。あなたは神に問う

最大でも最小が出る。誰がサイコロを投げたのか？ 私たち一人ひとりには、それぞれのエネルギーと行動の仕方がある。信念と目的を持ってサイコロを投げてください！

反射光、心の中の反射のダンス。

私を羽ばたかせる翼となる、新しい世界で私は目覚めた。この本を書くことは、私の中に明かりを灯し、私の存在を広げるようなものだ。内省は、思考を照らし、その変容の力を感じるための鍵である。

心という大海原を、私たちは思考の流れに乗って航海している。魂は時に荒れ狂う海のように揺れ動く。目は交差し、複雑さを露わにする。

世界の混沌の中で、エネルギーは流れ、悩める心は痕跡を残す。一体となった声が響き、言葉が表現芸術の中で踊る。インスピレーションが私たちを導いてくれますように！

心臓は静かに鼓動し、血管はその鼓動に合わせて踊る。抑圧は影でささやくが、思考は自由だ。

心の中で踊る思考、浮かんでは消える記憶。憎しみの練習？ いや、それは光のない道だ。チャンスはいつも適切なタイミングで訪れるとは限らない。そうさせるから苦しむのであって、表現の自由は宝だ。真実は正直さによって輝く。様々な表現の形、それぞれに美しさがある。バランスとは健康であることであり、内なる平和である。

バランスは日常、緊張は混沌。コメントは避けられないが、純粋さはすべての人の中に生きている。エネルギー源である太陽は、普遍的な愛と思いやりを照らす。何が異常なのか？ 何も起こらない時。

魂のダンスの中で、私たちは忘れたいから忘れる。考えは浮遊し、信念は、私たちに触れる不正のように、償いようなないものも存在する。喜びの源である愛は、孤独な避難所である。

良心は私たちの旅を照らすランタンのようなものだ。誰にでも悪癖や恐れはあるし、時にはくだらない話をすることもある。しかし、それは

悲しみを認めることで強くなれることを忘れてはいけない。何も隠さず、正直に。

私たちは皆傷つきやすいが、友情の輝きの中に強さを見出す。チャンスはドアをノックする。誰も誰のものでもないが、誰もが空の星のように輝く権利を持っている。友人とは自分自身を映し出すであり、私たちを完全な存在にしてくれるもう一人の自分なのだ。

私たちは皆、愛し愛される能力を持っている。愛は私たちの人生を照らし、導いてくれる。この気持ちを尊重することが不可欠だ。愛は私たちを結びつけ、成長させる力なのだから。

言葉は感情の交差点になりうるが、苦しみを避けるには常に論理がある。老人にあるのは知恵ではなく、賢明さである。耳を傾け、学ぶ!

私たちは皆、善と悪のどちらかを選ぶ力を持っている。人生は狂気が正気となりうる学校であり、知識が鍵となる。私はあなたのために、私のために、私を愛する人々のために変わる。進化とは変化すること。

電撃的な提携

私は感じ、反射し、理解し、捕らえる! 私は一日中

エネルギーを吐き出している!

光は引き寄せる!

力とは知識である!

知ることは学ぶことであり、学ぶことは発見することであり、感じることであり!

感じることは反省することであり、把握することは学ぶことである! 私」に気づくこと! 私は私であり、あなたはあなたであり、彼は彼であり、我々は我々であり、彼らは彼らである! 私たちは皆、私である! そして私は彼らである! そして彼らは私たちです

我々は何者なのか?

私存在する。想像と現実の狭間で、生命の光によって創造される。欲望と事実の間の二元論、自らの現実を解釈する。

私たちを取り巻く現実、そこで私たちは成長し、進化する! 変容と革新、変化と移行のサイクル。障壁を乗り越え、新たなステージへと進む!

サイクルと困難を克服する

現実であれ想像であれ、潜在意識と意識の相互作用によって生み出される挑戦の渦。

意識と現実化、無意識と自己の投影！存在とは旅である！

私たちはひとつであり、世界であり、「私」が「私たち」に変化したものなのだ！私が存在するから、私たちも存在する！私たち一人ひとりが世界に、そして作用している。あなたが彼らに作用し、彼らが世界なのだ！

生物であれ無生物であれ、存在は光であり、光を捉える。光はエネルギーであり、エネルギーは力である。力は欲望であり、欲望は欲望である。欲望は現実である。私たちは皆、現実に触れることができる。現実とは事実であり、行動である。行動は行動である。

行動こそが世界への答え！変革は修正である。変化は現実である！永続的な願望、常に夢見ること。世の中に望むものがあるわけではないが、私たちは挑戦し続ける！

存在しないものをひたすら探し求めれば、絶望と苦しみしか見つからない。実現不可能なものを望むことは、不幸への道である。真の幸福は、実現可能な欲望を満たすことからたらされる。

世界は、私たちの手の届かない神秘と力に満ちている。本当の自分を感じさせてくれるスピリチュアルな感情は、非現実的に見えるかもしれないが、私たちの存在の一部なのだ。憂鬱なときでさえ、私たちを導いてくれる光がある。スピリットとともに生き、目に見えないものに美を見出そう！

精神：私たちを導く素質！動機：私たちを駆り立てる力衝動：行動のエネルギー行動：変容させる行動行動：他者への影響他者：彼ら、彼女ら、そして私私対彼ら：私たちに挑戦する世界世界：社会的な舞台学習：私たちが採用する行動プレゼンテーション：私たちが獲得した知識の

知識は人生の道を啓発する武器である。

分かち合うことは学ぶことであり、学ぶことは生きることである。交流は宇宙のダンスであり、一歩一歩新たな発見となる。

世界に働きかけることは、世界を変えることだ！知識は進化であり、進化することは知識を得ることである。知るということは、変革する方法を知ることである！知識を無限の叡智に満ちた多文化世界へと変容させる。到達不可能な無限は、私たちの地平線である！

行動することが世界を変える！知識は進化の鍵である。知識があるということは、変化できるということである。知識を行動に変えることで、無限の知識を持つ多文化世界が生まれる。無限は達成不可能だが、一歩一歩が達成である。

賢くなることはユートピア的だが、意志の中にこそ内なる強さを見出すことができる！自己は世界を変容させ、世界は変容する私たちである。私たちは、理性と正義をもって世界を変革する者なのだ！

正義と平等は基本的権利である！私たちは現実に基づき、良心をもって行動しなければならない。想像力は力強く、私たちに自由を与えてくれる。知ることは、私たちを取り巻く世界を解釈することです。より良い未来を創造しよう！

解釈することは想定することであり、
 想定することは約束であり、
 約束は盟約であり、盟約は誓いである、
 誓いは忠誠、忠誠は真実、
 真実はひとつ、
 私もそうだ、
 我々は一つの世界だ。

成長することは存在することであり、存在することは事実である。私たちは世界であり、生物であり、無生物である。世界は私たちによって、また彼らによって変容する。常に進化している！知ることは知ることであり、知ることは成長することである。

経験することは世界を感じる事！感じることは、魂を知ること！経験したいことを選ぶ自由。尊敬は権利だが

義務でもある！知らなければ、変身もしない。知識は力であり、世界のさまざまな自己によって獲得される！

？他の聞きなさい！他の人の経験は、私たちにとって教訓となる！すでに試されていて、良くないこともある！人生の知恵は常識と経験の共有から生まれる！共に成長しよう

交流することは変容すること！友情は私たちの力であり、共犯関係は私たちの道しるべである。共に価値観を共有し、世界に影響を与える。私たちは皆、何か大きなものの一部なのです。行動を起こし、私たちを取り巻く環境を変えていきましょう！

変化のタペストリーの中で、世界は移り変わり、新たな進化を遂げる。私たちは変化を受け入れる、新しい自分、新しい私たち、新しい彼ら。新鮮な現実が幕を開ける、明日のささやきが響く。

世界の変革は私たち一人ひとりの中にある。新しい私、新しい私たち、新しい彼ら。私たちは共に、新しい現実を創造する。

キスへの欲望

私にキスを...あなただけが知っているようなキスを！隠して、柔らかく、優しく...あなたのような味がする！お返しに私からのキスをあげるわ。

夜のお供、不眠症。眠りたくない、一瞬一瞬を激しく生きたい。不眠症の勇気をもって、この障害に立ち向かう。

ウルフの影で、迷いながらも発見。保護は選択肢のひとつ。強力な化学薬品、水、食品の器用さ。日陰に飛び込む、

冒険が待っている。保護さ
れている、
しかし態度だけは

今日、私はカリクアオの狼の精神に則り、彼の野生の世界と向き合い、それを解釈する。独立心が強く、忠実で正直な友人であり、獐猛だが慈愛に満ちた性格の持ち主。カリクアオの路上で形成された人生の胎動、そこで私は友情の価値を学んだ。旅や分かち合いのとき、いつも愛情と沈黙を守ってくれた忠実な仲間。私はカリクアオの通りの影とその知った。

夜のように謎めているが、生きることと自由であることへの渴望を持っている。私とソンプラ・ウルフは、母なる自然が与えてくれた自由の中の友人だ。ハバナ・クラブは革命の真髄の中で、孤独な盟約の中で共にある。狂気万歳!

Jogo do Galo: 言葉と感情のダンス。敬意と感謝を込めて、あなたは私を、私はあなたをどう思いますか? おそらく、私たちは行間を理解し合ったのだろう。その言葉は雄弁である...適切なタイミングで包装を解かれた贈り物...。そして今、ミサカコケシか? 恐ろしい質問がなされた!

恍惚への反射、私たちを遠ざける沈黙のエコー。行為は痛みの言葉であり、存在の化学反応によって克服される障害である。天上の肉体は完璧な愛を開花させる。

多面的な魂の理解が豊かさをもたらす愛のクローバーを求めて。出会いのたびに、思いやりと優しさへの欲求が高まる。人生の輪の中で、唯一無二の自己は、はかない欲望の中で失われることはない。

信仰と尊敬の象徴である黄金の指輪は幻想にすぎない。私たちは野蛮人であり、エゴに突き動かされている。考え方の衝突が心を燃え上がらせる。常識こそが、自己と他者を調和させる鍵なのだ。譲歩するか、押しつけるか。拒絶するのは簡単だが、真の知恵は受け入れることにある。

愛するということは、自己を感じることに以上、他者を感じることにある。私たちの

本能的な行動では"私"が優位に立つが、他の存在とつながることで調和が生まれる。他の存在に屈服するまでに、どれだけの"私"を我慢しなければならないのだろうか？

自己の迷宮に、孤独がこだまする。利己主義の鎧はいつか破れ、空虚な鏡を見せる。自己愛は真の愛を生み出さない。愛だけがすべてを征服する。

人生は色彩の庭であり、憧れと欲望が共に踊る。あなたがここにおいて、私の近くにおいてくれたら、どんなに完璧だろう。

しかし、花びらは散り、私は再会を願うばかりだ。

茶色の瞳、海からのオリーブ、あなたは私の心を歌わせるミュージズ。あなたを想うとき、私に夢を抱かせる輝きしか思い出せない。

憧れもなく、無名から目覚めた。情熱と欲望が私を包み込む。強いキスとハグ、すべて求めずに。愛、愛情、思いやり、痛みなく。要求することなく与える。金ではなく、永遠の愛という宝を探せ。

あなたは私を感じていることを知っていたけど、私はそれを言わなかった。深い何かが芽生え、翻訳できない愛が芽生えた。朝日のように、恐れることなく心を照らした。私は見ることなく愛し、孤独を温めた。

あなたは窓際にいた。サンダルウッドとジャスミンの香りがした。昨日と同じ、今日は特別な日。顔を合わせることは痛く、そして不可欠だった。私はあなたのために息をした。あなたは見えなかったが、あなたはそこにいた。私はあなたを海に連れて行った。あなたは海の空気、湿った息、そして喜びを知っていた。

タバコに火をつけ、自分をする...。セリフとアイデアの間で、私は迷子になる。誰かわかってくれるだろうか、それともすべてが曖昧なのだろうか？

タバコの火は消えたが、私の中には書くという炎が灯っている。誰かが私を読み、私の喜びを見出してくれるかもしれない。私は、愛と理解が指針となる、より具体的な新しい道を選んだ。運命が愛の心によって形づくられ、愛の言葉が希望の道標のように響き渡りますように。

対立することなく、愛と信頼だけを抱擁する言葉を求めて。直接的でありながら、常に自然体で、読み手と書き手を一体化させたい。つながるフレーズ、考えるフレーズ、瞑想するフレーズ。友好的な手紙の旅に一緒に出かけませんか？

考えることは、私たちを不条理へと導き、存在させる挑戦である。普通でないこととは、本を読み、考える忍耐力を持つことである。私はほとんど本を読まないが、読んだら考える。読書をし、そして考え続ける。誰かが考えてくれていることに感謝。

あなたはしれないが、私は感じる。雨が石にしみ込み、土と砂を結びつけるように。固くて効果的な関係。私たちはその強固な結合の上を歩く。

石に降る雨の感触。土と砂で結ばれた強い絆。私たちはその上を歩く。自然のような効果的な関係。

石工と石、型にはめられる心、共にある感情。愛は私たちを結びつけるモルタルであり、レゴの道のように強く堅固である。人生は磨耗し、引き裂かれるものだ。宝石細工であろうとはめ込み細工であろうと、私たちは世界のピースなのだ。

地球という大きなパズルの中で、それぞれのピースには居場所がある。私たちはすべて不可欠な存在であり、それぞれが独自の形を持っている。私たちは一体となって、全体像を形成している。調和は、私たちがたどる道と、私たちが創り出すつながりの中にあります。愛と団結の世界のために協力しよう！

他人が隠れていては、私たちはどうすれば自分らしくいられるのだろう？ 感じることは存在することだが、分かち合うことは傷つくことでもある。なぜ物事を複雑にするのか？ 真実は私たちの顔、私たちの顔。そして誰かを好きになったら...

顔出し、フィルターなし。お金では買えないし、誰も買いたくない。私はユーロに反対で、感情のある顔を支持する。王冠は顔の代わりにはならない。苦しむことは存在すること。

同じ痛み、同じ熱情、それは愛だった！ 私たちは無声映画のスターだが、私たちの情熱は永遠の歌だ。

同じ道、同じ道。私たちは見つめ合い、未来を共有する。あなたはため息をつき、私もため息をつく。共に夢を描き、恐怖に立ち向かう。人生は困難だが、すべてが私たちの空間に収まる。

私がそうでないときでも、あなたはそうだと知っている。イマジネーションは国境も障壁もなく飛び交う。私たちは一緒にいる。あなたは行動し、私は反応する。あなたは笑い、私は微笑む。完璧なハーモニー。あなたが欲しい、あなたが欲しい。キスひとつで、私は旅に出る。

でも、転ばないし、怪我もしない。あなたは私の欲望を癒してくれる。あなたに会って、すべてを発見し、何も知らないと約束する。私はあなたを見た、私はあなたを感じた、あなたも私を感じた。いつも近くにいてほしい。私は暴動を克服するが、戦いはない。、あなたは見たいのだから。知っている、想像している。征服は現実、帝国。想像ではない、視覚だ。

Null or Zero: 幸福への永遠の探求!

私たちは願望を達成し、充実感を味わう...しかし、野心が私たちを次の夢へと誘う。

人生は達成と新たな欲望のだ。

ああ、ミスター・ジニー、ただ3つの願いを叶えてくれるだけじゃなくて...!

幸福ははかないが、それを望む意志は無限である。

美しさの裏には個性がある! 理想を追い求める力。自分の理想を守ろう! 個性とは、私たちの姿勢を示す違いである。プライドとは、私たちが唯一無二であることを可能にする自然の力です。特別であれ!

ああ、信じないで...いつかは倒れる。でも私たちは耐え、我慢し、愛し、戦う。信念を持って立ち上がる。行きたくなくても落ちる、パラシュートなしで落ちる。罪の意識にさいなまれながら、言い訳することなく。ごめんなさい。そして、!

私の庭のプリンセス、あなたの緑と茶色が魅惑的。魂の輝き、私は呼吸する人のようなあなたが欲しい。陽気なマリーゴールド、あなたの色が癒してくれる。

私輝く姿、私の魅力。美しい髪が私のリンクを作る。私を楽園に連れて行ってくれるこの情熱に感謝。

人ごみの中で君を見たよ、
私はあなたを見つめ、時が静止した。私はあなたの本質に気づき、とても純粋で、とても美しかった。
ディテールのひとつひとつに喜びを感じた。
とてもユニークで稀有な存在、
一瞬のうちに、うちにあなたを愛した。それはエーテルに書かれた詩のようにシンプルで誠実な愛のジェスチャーだった。

今にも倒れそうだった。
そんなこと言わないで、私たちは同じ、一つの端っこなんだから。

迷いそうになったら、私があるあなたの出発点であることを思い出してください。人生は私たちが会おう地図であり、私はあなたに言った："旅へようこそ！"
私を頼って、私はあなたの隠れ家にいる。ちょっとキスすれば、すべてうまくいく。

創造せずに想像し、読まずに書く。聴かずに聴き、暗記せずに勉強する。見ること、感じること、手放すこと。文字、言葉、文章、詩。私にとっては、すべてがテーマなのだ。

今日、私は過去がなく、現在的で現代的だと感じている。私は今、すべてを忘れ、やり直す。私はあなたの目を見て、皮肉なしであなたを見る。私は自発的で、事実には忠実で、時間に正確で、最新です。

今日はこんな感じだった。前の瞬間がなかったら、どんな感じだっただろう？ それは内側から来るもので、私は外側を見る。私は今に存在し、自分自身を見る。瞬間は。私がすべきことは、今を見つめ、今と向き合うことだ。

ひとつの行為から、ひとつの言葉が生まれそうになった。意志と喜び、

書くことだけで。書くことはエネルギーと喜びから生まれた。日々を生きる男。

書くという行為、喜びの意志から言葉が生まれる。日々を生きるエネルギーと喜び。時に自分を見失いながらも、さくらんぼのように甘くあることを目指す者たちの頬を、穏やかな涙が伝う。

時に愚かに、時に明快に、言葉が踊る。燃え上がるインテリア、深淵への旅、あなたの世界の転機。深いまなざしで見える。

あなたが何を感じ、何を恐れ、何を望んでいるのか、私は知っている。孤独な夜には、情熱と欲望がある。あなたは目を閉じて夢を見る。あなたの笑顔を思い浮かべながら、勇気を待つ。

微笑みが石と出会い、水が踊る川岸で、私たちは狂気の純粹さを発見する。私たちのものは誰にも渡さない。

座って、考えて、書く。想像の水族館で、私は泳ぎ、夢を呼吸する。いつか、制限なく、泳ぎ、夢を見るために。

こんにちは、

そこにいるんだね、どんな気分？ 私はいうと、あなたが話し、私は聞く。

私は、あなたより劣っているが、決して劣ってはいない！

ポジティブでクリエイティブ、決してネガティブにならず、常に建設的。

、私は信頼を失ったが、誰かが私をつかまえて「こんにちは」と言った。元気ですか」と尋ねると、「」と答えながらも、あなたの心が前向きで創造的であることがわかる。私を守ってくれる爪、私を決して忘れない人を感じる。この進化し続ける集団の中で、他のみんなと同じように、あなたにも幸せで明るくいてほしい。

前を見たら、そこに君がいた。それは魔法だった。それはあなただった。あなたと私だけの幸せ。雨が降り、私たちを結びつけた。濡れて、愛し合って、魔法の雫が溢れた。純粋な喜び。

書くたびに、私はあなたを見る。未来においても、現在においても、私は永遠にあなたが欲しい。友達以上の絆で結ばれて。へそとへそ、唇と唇、体と体。いつも一緒に。

それは、私が見たけれどももの。私が求めているもの、感じていたもの。苦悩のない強いつながり。私はあなたを想像の中に置き、黄色の濃淡で美しいものを創造した。決して消えることなく、一日中エネルギーを放つ太陽のように。

光が消えれば、私は暗闇に飛び込む。すべてが変容し、想像力が羽ばたく。障害物は踊る影となり、ショーが始まる。明かりをつけると、夢は続く...いつまで？

思考は芸術であり、すべての心は宇宙である！すべてがユニークで、すべてがつながっている。

私は暗闇の中を航行する。光の愛ではなく、時の乗客。身体は眠り、感情は音によって壊される。私はリラックスし、耳を傾け、再び現れる。緊張をほぐすことを忘れる。立ち止まり、縛られ、しかし解決策は常にある。反応するのではなく、行動する。私は状況を管理する。苦しみを打ち消す侮辱。

私は考え、夢を見、目を覚ました...。夢の中であなたを見た、魅力的で美しいお姫様。あなたは私の心を鑑なしで鼓動させるインスピレーションだ。

あなたは眠くて、口を開けて、眠ってしまった。私はあなたのことを考えた。背もたれに寄りかかり、横になって、私はキスを求めた。あなたは願いを叶えてくれた。私はあなたと一緒にいたくて、気がつくとなあなたの夢を見ていた...

アズセナの静けさ、あなたの香りが私を魅了し導く。屋根の上、星空の下、私はあなたに身を委ねる。

あなたは私を微笑ませ、感じさせてくれる。アズセナの花びら、あなたの香水は私を誘惑し、あなたに会うよう導く。

屋根の上で星を眺めながら、私はあなたに夢中になっている。あなたはとても親切で、千のうちの一つ、いや、むしろもっと無限だ。私があなたに感じるものは魔法のようで、計り知れない。

私は星々の間、雲の下、空の下を旅した。愛が花開く火星。欲望が育つ木星。私の存在はペンを持って惑星から惑星へと飛ぶ。

そこには強さとエネルギーがあり、喜びが伝わってきた。花の形をした愛、ひまわりのように動く愛。夢、達成、情熱のすべて。素晴らしい、素晴らしい、要するに、とても愛に溢れていた。

私は窓から遠い地平線を眺めた。君の星が瞬いていた。月、私たちの風景、私たちの旅。私たちは一緒に旅をし、夢を征服した。海の下も陸の上も、月明かりだけだった。

憧れとは、あなたがここにいることを望み、あなたに会うことを切望し、あなたを見ることなくあなたを愛することである。あなたの存在を五感で感じること：そこにいなくてもあなたを見ること、匂いを嗅がずにあなたの匂いを嗅ぐこと、音を立てずにあなたの音を聞くこと、味わわずにあなたを味わうこと、触れずにあなたに触れること。

インスピレーションは太陽のようなもので、輝くときもあれば隠れるときもある。書くことは難しいが、一言一言が一筋のなる。たとえ創造性が遠くにあるように思えても、私は頑張る。

覚めている夢の中に、私はほとんどねじれたように没頭していた。自分の存在とともに創造し、生きる。

いる？

世界を変えるもの、ただのものだったものがある

、

今、彼らは千差万別の感覚を引き起こす。変身すれば本物だが、かつては何かだった……」。

ああ、人生というものは！

それは空中の霧であり、空を飛ぶ者たちの下で、夢のように漂っていた。月明かりに照らされ、恐れることなく、乗り越えようとする姿。大海の船長、手近にあるものすべて、想像の航海に。勝利の戦い、真の偉業。

いつかこれが過ぎ去るなら、それは何と喜ばしいことだろう！ドアを閉め、窓を開け楽園の下を大胆不敵に飛び回る。暖かい雰囲気の中、ゆったりとした音符、咲き誇るユリとマリゴールド。湿った大地、理性にしがみつくと無力な電球。緊張が高まる…。

交錯する思い、涙と後悔。理解できないまま書いたが、深く感じた。すべてを見たが、何も見なかった。あなたから離れることなく、自分を捧げることに涙した。情熱が痛み、火をつけ、ノーが解放になる。心は離れていても強く鼓動する。貧困であろうとなかろうと、私たちは皆人間だ。

つまり、すべてのものには終わりがあり、始まりがある。私たちは愛し、拒絶する。なぜなら、すべてのものは一瞬にして咲き、一瞬にして消えてしまうからだ。生きることは気まぐれで、挫折の中の一瞬だ。生まれ変わるためには、ただ信じるしかない。

存在することと存在しないことの間で、愛が道を導く。歩き、存在するから生きる。思考の動きの中で、私は自由であり、注意深い。立ち止まっても、私は前進する。

私は迷信を信じているのではなく、人間とその創造物の力を信じている！イオンからロケットまで、想像し創造すれば何でも可能だ。本当の魔法は、世界を動かす目に見えないエネルギーにある！

愛とは、痛みと喜びが永遠のシンフォニーを奏でる深遠な神秘である。感じることは生きることであり、守ることは愛することである。たとえ痛みがあっても、愛は花開く。

君の瞳に海を見る。まつげの一本一本が波、涙の一粒一粒が貝殻。私は星につまずき、一粒が私の心を養う。

苦しんだが、それに気づけなかったというか、自分が経験したことが理解でき

なかった。私はひまわりのように微笑んだ、
喜び、太陽の下で輝く。
自分を解放し、美しさを見せる。

恐れは誰にでも少しはある。

動くものだった。

どうしてこうなったのか、わからなかった。

一瞬の苦悩、ゆっくりとしたつぶやきに直面した。今、彼は笑わなかった、誰かが見た、揺れ動く人影。

彼が見ただけで、誰も気づかなかった。沈黙が続いた。

孤独な道での凍りついた感情。すべてと無、誰の中の一人。決して超えられないが、誰かとして、私は足りなかった。

私の目には確信が輝いていたが、不安は私をつまづかせた。荒れ果てた屋根の上で、私は痛みと不安な視界を見つけた。私は転んだが、謙虚さには人間の美しさがある。

静寂は大声で語る声であり、魂に響くメロディーである。言葉にならないものに耳を傾ける者は平安を見いだす。静寂の静けさの中に、幸福が姿を現すからだ。

ある日目を覚ますと、喜びは遠ざかっていた。静寂が語り、不穏な空気が漂い、人間は悲しい。

孤独の暗闇の中で、手を差し伸べなさい。兄弟にノーと言うな。心に触れることは無駄ではないのだから。

もし孤独がただ一人でいることだったら、哀れみはないだろう。魂は虚空に自らの響きを見出す。

岩の上に座る

ことを書くよ：

あなたの笑顔、あなたの仲間。一人になったとき、私はあなたを想った、

そして、それを思い出すと気分がなった。

夢を見ることは幻想の海を航海することであり、目覚めることは現実に錨を下ろすことである。夢は私たちを変えてはくれないが、理性では到達できない場所に連れて行ってくれる。夢を見る価値はあるのか？ それとも、目覚めることが本当の宝物なのだろうか？

暗い夜、深い沈黙。しかし、いつも星が輝き、友が輝いている。最も困難な時でさえ、希望と信頼がある。私たちを引き上げてくれる真の仲間。私たちは決して孤独ではない。

人間は、生まれてから死ぬまで、いつも驚かされる。理由もわからず、何かを起こす。その本質は月光のように輝き、最も激しい環境さえも照らす。希望は生き続ける、信頼できる人は必ずいる。私たちを応援し、引き上げてくれる真の友が。どんな時でも、最後の瞬間でも。

キラキラした目、

空に輝く星、目覚める情熱。

希望が生まれ、真のパートナーとなり、誠実な
友となる。

私が望む地平線が見えたら、同じ道を分かち合いながら、一緒に進んでほしい。この巻物にはこう書かれている：あなたは私の肩で寄り添い、いたい人。私たちの月明かりと同じ星に照らされ、いつも輝いている、私たちが征服しようとしているその場所をいつも待ち望んでいる。

理解を求めて、未知の影を抜けて。理解するためには、知るだけでいいのだろうか？ すべてはどこから始まり、どこで終わったのか？

何が起ころうとも、私たちの愛はいつもあなたとともにあることを知っていてほしい。それは単なる情熱ではなく、永遠のコミットメントなんだ。

夜は私の静かなパートナーだ。秘密と感覚を保ち、常に耳を傾け、決して語らない。私は音楽に身を任せ、夜の深みの中でリラックスする。

自由は新鮮な空気の息吹だ！ しがらみが解け、結び目がほどけるのを感じる.....自由になるということは、次のような世界を体験することなのだ。

自然で官能的な方法で。緊張を捨て、軽やかな人生を受け入れよう！

書かれた言葉はすべて、私の一部。感情はインスピレーションの川のように流れる。読者の皆さんが、私が書く喜びを感じてくださることを願っています。

孤独感、無目的、方向感覚の喪失、忘却の彼方へ突き進む。息を失い、信じなくなる。誰もが生きていく中で直面する。

失われた表情、寂しいため息。煙草の煙が舞い、時間が流れていく。一服ごとに、絶え間ない探索。この中毒が消えていくことを...願う。

魔法のような一日が起こった！努力と忍耐、前向きな姿勢の結果、とんでもないことが起こった。勝利、圧倒的な勝利、夜明けの征服者。すべては私の手のある。幸せになるために、ただ私が望んだから！

咲き誇る花のように、今日、私は生きるために生まれ変わる。どんな日でも、どんな月でも、どんな世紀でも、私は幸せになる運命にある。聞いたことのないものを聞き、ものを生き、行ったことのない場所に行く。詩のように軽やかに、ありふれたものを特別なものに変える。

それはすでに無意識の中にある。私は先に進む。生きることは信じることであり、想像することは現実を征服することだ。私たちは自由であり、悪徳や美徳の奴隷ではない。跳べ、走れ、飛べ！心臓を強く鼓動させ、最高の自由を手に入れよう。存在することは、自由に生きること。

人生というレースでは、すべての挫折が後押しとなり、すべての遅い一歩が達成となる。自由は孤独の妹であるが、孤独の、最初で最後となる強さを見出すことができる。私たちの前には人生があるのだから。生きるために走り、負けて勝つ。幸せであることがゴールなのだ。

私は瞑想にふけり、孤独の中に静けさを求めた。幸せは外にあるのではなく、落ち着きのない私たちの中にある。自分の仲間を受け入れることに充実感を見出した。

それは自閉症ではなく、自己認識だ。

6TAR そこで...

頼まれなくてもそこにいること、不必要な瞬間に同行すること、あなたが望む目に見えない存在であること、遠く離れていても、あなたと一緒にいるために。あなたが私を感じないとき、そこにいて、あなたの無言の呼びかけに応え、あなたを慰める思いとなり、何が来てもいいように準備する。あなたを想像し、望んでもいないのにそこにいる。あなたが存在するから存在する、あなたを夢見て、いつもここにいるために。いつもそばにいられますように...

ああ、あなたの瞳に宿る魔法、私を誘惑した輝く微笑み！あなたは美しく官能的な、私の理想の女性だった。私たちの日常にその魅力を感じていた...。魔法は好き？好きよ

ある日、私は自分の知らないすべてを想像した。恐怖の夢、沈黙の旅。無視された苦しみ、不在の勇氣。見ること、見ること、誰かの幸福。私たちが持っているものは稀で、100人に1人。

思考と喫煙、内なる戦い。一分一秒が征服だが、誘惑は続く。書くことは解放だが、欲望は潜んでいる。時間は、闘いは続く。あきらめるのは簡単だが、勝利は主張する。エネルギーは消えず、変容は避けられない。一服のタバコ、一瞬のためらい、しかし決意は勝つ。

カモメが空を横切ったら、あなたを連れ戻すようお願いしよう...。何も望まなかったとき、私はすべてを失った。君がいなかったら、僕はどうなっていただろう？あなたの心をかき乱す火山になりたかった、この巨大な勝利の愛。電気よりも強い幸せ、私たちを結びつけ、決して離れない電流...

川の橋の上では、思い出が風に舞う木の葉のように浮かんでいる。過去は埋もれてしまったが、心のキャンバスに描かれた甘い言葉が蘇る。それは彼女であり、生きた芸術であり、時が消し去ることのできない顔だった。#

光のダンスの中で影が姿を現し、顔のない人物が夜の中に隠れている。恐怖の囁きは、光の中でこそ生きる

。

消える幻影、深い謎。闇の友、儂い夢。

人生の波の中で、緑は隠れ、青は衰える。赤が現れ、原則を警告する。静かな叫びと魔法の言葉の間に、文学的な壁が築かれる。涙と文章が流れ、魂を活性化させる。

魂のめまい、永遠への跳躍。落下は始まりに過ぎず、濡れた舗装路が道路上で輝く。心臓は高鳴り、旅は速い。上り坂の途中で時が止まる。不滅の瞬間、人生のピルエット。

相手が苦しんでいるのに、自分は感じているというプライド。人の身になって、自分が苦しむことがないように。障害はプライドを高めるが、自分への信念は生まれる。私は最後まで戦い、あなたを見守るためにこの世に生を受けた。相手と相手の世界を知ること、それが本当の旅なのだ。

フェンシング、感覚の芸術、傷
に来る打撃。

激しい闘い、執拗な痛み、しかし闘士
は立ち上がり、痛みを克服し、愛を叫
ぶ。高みで栄光が輝き、勝者と敗者が
微笑む。

闘う者は皆、勝利に値する。念願の勝利を手
に、輝くのだ。

涙もろく、軽薄で、苦しい夜明け。しかし、太陽はその暖かさで悲しみを蒸発させる。雲がささやく。朝は生まれ変わり、新しい始まりを約束する。

シンプルさこそが、私たちの中に眠る可能性を解き放つ鍵なのだ。勇気と忍耐によって、希望は道を切り開く。

霧が晴れ、征服の意志が現れる。自己を愛し、人生の戦いを前進させる時だ。

ショットを放つたびに、私たちは運命の手を調整する。過去のしがらみから解き放たれ、魔法のような現在を受け入れる。

喜びと違いは、すべてが起こるマインドから生まれる。単純に開花の時なのだ。

生命の網の中で、蜘蛛は踊る。死はただのサイクルであり、終わりではない。進化が絶えない美しい社会を紡いでいこう。蜘蛛を恐れず、建設を受け入れよう。

焙煎されたコーヒーとタバコの煙の香りに包まれたLuzesCaféで、私は自分の空間を見つける。ここでは毎日が白紙のページであり、そこで私は書き、創作し、放浪する。私の旅を照らす2000時間の言葉を夢見て。

言葉の感情の波となる、文章の海に飛び込む。インクの海で、私たちは深い心に届く、意図のある文字を探し求める。私たちの反射の海を愛し、航海しよう。

私は自分のランタンを灯し、虚無を照らす。炎は輝き、果てしない欲望を呼び覚ます。時間はゆったりと流れるが、私のまなざしは明るい。私は強烈な香水を吐き、呼吸することに喜びを感じる。毎日、新しい空気。

笑顔は常に必要なものではないが、必要なとき、それは誠実でまばゆい輝きで世界を照らす。それは最も純粋な形の幸福であり、魂に触れる一瞬の喜びである。

ファド、遠い旋律は、時とともに踊り、永遠のあこがれで私たちを包み込む。不在の砂漠では、あなたに会いたいという渴望が川のように伸びていく。ものだけを求める欲望が。

。

人生を感じることは、言葉は必ずしもすべてを翻訳することはできない。私が書くものは、世界の音に合わせた心のダンスだ。シンプルだが奥深く、風が秘密をささやくように。

もし風が言葉を運んでくれるなら、私は雨の中であなたへの葉書を書きだそう。私は太陽とその光線を描き、あなたは私のエネルギーだと言う。雪が降っても、僕の太陽は君のために輝く。この思いがいつも風に吹かれていますように。

考えること、考えること、行動すること、行動しないこと。表現せずに感じる。反応する前に反省すること、知恵の秘密。見せかけの思考コントロール？ 沈黙が最善の答えであることもある。

障害

人生において、障害は光景である！ 恐れずに勝ち、感じ、成長する。敗北から学び、敗北に反応する。克服することは、自己を最大化することである！ 達成と自己価値は、生きることの本質である！

海には感情が渦巻き、砂は指をすり抜ける。海のしずく、風景の粒。手と心の間で、すべてが感じられ、すべてが届くわけではない。

人生とは、消えてしまったタバコのようなものだ。私は彼らが言うようになりたくない。私はざわめきの中を歩き、影の中から真実を探す。しがらみのない、私と無限のものだけがいい。

泣く、舞う木の葉のように落ちる涙。他人の過ち、見えない牢獄。私は自分自身を解放し、笑い、泣き、人生を存分に感じたい。無関心の涙は流れるが、その一滴一滴に価値がある。

あなたはどんな人？ 平凡で、同じで、君は標準だ。私は何をいのか気にしない、私はあなたが与えることができないものを見たい。私が欲しいのは

私だ。あなたは私が思っていた通りの人であり、そうでなかったときは、あなた自身をそうさせた。私は私。

的も矢もなく、どうやってこの物語を始めたのかわからない。心の痛み、元気の出ない一撃。孤独な心、それでも汲み上げたい心。

私は自由ではないし、これからも自由にはなれない。自由は好きだけど、あなたのいると感じる。なぜだろう？ 彼らは本当に愛しているのだろうか？ 自由を求めているのに、誰かに縛られたがっている。私はただ一人で、透明でいたい…。理解することも、考えることもしたくない。近づくものから距離を置きたい。彼らが自由だと言う愛はいらない。自分の中にあるものを解放したいだけなんだ。

苦悩と喪失の中で、人生は川の流れるように待つはくれない。私は何も手にすることなく、ただいつか屈するという確信だけを胸に去っていく。笑わず、泣かず、ただ存在する。生きるということは、なんと悲劇なのだろう！

どうして？ 問うが、かつてのことは考えたくない。戦いたくない、かつての自分にはなりたくない。その声は嘆く者を苦しめる。待ってくれ。僕は旅をしているんだ、辛抱強く行ったり来たりするよ。なんて言ったらいいんだろう。私は多くを持たないし、多くを失っている。もうこれ以上いらないという、私の中に侵入してくる。もういらない。

帰りたくない。ここで音楽と風を感じたい。私は悪魔でも天使でもないし、天国や地獄を探しているわけでもない。すべてが存在する地球が欲しい。私は帰りたくない。ただ、呼吸し、自分の存在を創造するための空間が必要なのだ。ただ呼吸するための空気が欲しい。呼吸する空気のようにゆるやかでありたい。

ある言葉は話されるけど、聞かれることはない。時々、私は生きている肉体のように感じる。あなたの関心を求めるのは、やりすぎでしょうか？

表現したいことが明確でないのに、落ち着かないことがある。欲望と意志が混乱し、その中で孤独を感じる。

私は、自分の存在が伝えたいと切望していることを伝えようとして書く。すべてが語られるわけではなく、すべてが理解されるわけでもないが、その試みの中にこそ表現の美がある。

私は自分を貧しくする拒絶する。

心は、たとえそれが望んでいなくても、目で見たものを感じる。

ハートの視線は決して開いてはいけない。

私はここにいる、あなたの目には見えない。いや、そうは思わない。私の存在を感じられる？ どちらも感じないだろうね私に何を感じる？ 私は、あなたが私を忘れないように、影のようにここにいる。私は不在に耐えられない。私たちを結びつけるものは、私たちを隔てるものでもあるのだから。私はいつもここにいる。

偽るつもりはない、流れに任せるつもりだ。悲しく濡れた涙を書くよ。君の涙を、痛みを、孤独を、拭わせてくれ。君のその飲みたい。

広大な存在の中で、たった一人。私と一緒に、これが私であり、唯一の私である！

内観の中で、痛みは広がり、深い感覚となる。自己は、自分だけが知っている謎。他人にとっては幻想。

緩んだページ、風に吹かれる木の葉、自由になる文章。魂を空っぽにし、すべてを蒸発させたいという願望。書くことは解放への道であり、言葉のひとつひとつが痛みを溶かしていく。私は苦しみたくない、進化したい。

また新たな一日が始まるが、私は夜の中にこそ、あなたがもたらす光を見つける。静寂と暗闇をひとつにして、魔法を生み出そう。私は闇夜の中であなたの光になりたい。

人魚がハーブを奏でる深い潮の中へ。言葉もなく、ただあなたを見つめていたかった、あなたを忘れまいと。でも今日、私が欲しいのはほんの少しの何もない。

時には沈黙が最も雄弁な応答となる。私が恐れているのは死ではなく、愛するものを失うことだ。しがらみから解き放たれ、持つことの重みなしに、ただ存在したい。

自己の探求において、心は道しるべとなる。自分自身を知ることは、小さな、しかし本質的な深淵である。持つことと属することは、消えゆく影のようなもの。本質的に、在るということは、嫌がらずに諦めることだ。真の力は謙虚さにある。

毎日、人々は新しい知識に目覚めるが、学べば学ぶほど、真の知識から遠ざかっていく。何が変わったのか？ すべてであり、何も無い。私の変化した世界では、知性は導いてくれるが、幻想は続いている。

終わりたいところから始める。部屋の煙、魂の煙。君や世界と決別、僕にできるかな？ さあ、私を押しして！ 恐れずに、私は前に進む。私の日々が終わる前に、私は戦うつもりだ。

外側を拒絶し、内側を受け入れる。外の世界にとらわれない、私という人間の物語。私の中に宿る真の存在を見つけること。好奇心が沸きましたか？ 一緒に自分探しの旅に出よう。

煙と時のダンスの中で、私は魂を解放する空気を探す。歴史は終わるところから始まり、苦闘と過ちの繰り返しである。私は浮遊し、呼吸し、霧散する煙になりたい。私はすべてを手に入れたが、何も望まなかった。後戻りしながらも、前へ進もう。

内なる戦いは続く。過去の影から自分を解き放ち、本当になりたい自分になるために戦う。私の良心が叫ぶ。私はじっとしているが、動き続けている。私の金庫よ、私を導いてください。私は成長し、拡大し、もっとになりたい。幻想はなく、真実だけだ。私は私。

自然の調和の中で、解脱の根源が花開く。私たちはそれぞれ違うが、共に本質を見出す。ドアは開けっ放しにして、時の中で踊りながら、私たちが行き来できるようにするのです。私たちの中の子どもは相であり、レッスンなのです。

こんにちは」で始まり、「さようなら」で終わる旅。思考の深淵は私たちに試練を与えるが、現実に戻ることで調和を見出すことができる。

憧れは叫びを消し去る涙であり、私たちが若返りへとつなぐ糸でもある。

痛みは消えないが、旅の一部となる会話。

存在することと存在しないことの間にある二律背反的な存在。一瞬で消えてしまう写真の瞬間を生きる。呼吸は衝動だが、生きることはそれ以上だ。運命を消し去り、分数を生きる。

生きることを止めても、呼吸は止めない。自然は私たちを取り囲み、幻想で私たちの気をそらす。一瞬一瞬が新しいステージであり、ランダムなフレームを映し出す。自己は外部によって拡大される。瞬間の吸収は幻想である。大自然は私たちを動かし、より大きな感覚をとらえる。

言葉は舞う行いのように、隠れたり姿を現したりする。わかるかい？ 人生は瞬時に垣間見えるものであり、広がる煙なのだ。

10を数えながら、未来は今という窓から覗く。煙が晴れ、クリックが大きくなる。

凍てつく北の大地で、待つこと。古いシーツ、焼けたオレンジ色の光。忘れ去られた毛布が、緩んだ記憶の寒さに耐える魂を温める。暖かいリズムが侵入し、冷え切った世界で自己を探求する。球体が転がる、熱い、あるいは冷たい言葉の断片。

川と谷の温かな夢、そこで希望が出会い、距離なく創造される。ギターが振動し、文化を渴望し、私たちがそれぞれの問題を解決していく。

果実が生まれ、狡猾さが現れる。沈黙の言葉、気配り。

言っていないことに疑惑が生じるが、意味はある。

すべての真実は、思考と行動の間に真実はないということだ。行動の断片は、私たちを欺く人工物を生み出す。意味不明な言葉が、理性をもって語られる...

不幸という形の中に、私たちは根本的な行為を見出す。成長するということは、たとえ状況が意味不明であっても、何をすべきかを知ることである。足し算という形で、兆候から学ぶことは使命である。

世界のダンスにおいて、類似性はミューズであるが、平等は神話である。疎外感に迷い込んだ私たちは、まっすぐなフレームの画家であり、絶対的だが決して決定的ではない理由の建築家である。私たちは、真の芸術が宿る内なる熱を感じている。

想像が現実と踊る言葉の宇宙では、それぞれの断片が物語を語る。ウィットのシンプルさの中に、私たちは純粋な未来の本質を見出し、厳しい過去は私たちに教訓をささやく。ひとつひとつの言葉が生きたイメージであり、破壊と発見の旅でありますように。

太陽は沈み、眠りにつき、地平線は線
を引く。

光り輝く行進、そこではあらゆる細部が言葉のダンスとなる。静寂に包まれた記憶、本能のない暗黒の千里眼。私を侵食する存在は私ではない。

アキレスのように、虚構と現実の柱の間を歩く。自己のスパイ、悪評の賛美。機関車は暗いトンネルに向かって疾走し、光り輝く終わりを望む。クレイジーで深遠な旅の断片。

私たちを突き動かしているのは不可解な力であり、網の目は壊れても常に再構築される。私たちは経験の総体であり、異なるが本質は同じである。もっと多くの人に来てもらおう。それぞれが文字という空間の中で、ユニークな旅をもたらしてくれるのだから。

人生の芸術において、死は創造される空間に過ぎない。決して終わりではない、

しかし、新たな始まりでもある。知識に飢えた狡猾なキツネのように、私たちの長寿は学ぶことを止めないことにある。限界は崖っぷちの始まりにすぎない。

若々しい態度はどんな高度にも打ち勝つ。征服の断片、私たちは落ちることなく飛ぶ。言葉は深い海、欺瞞の芸術。海が湧き上がる、魔法とエネルギー。フィリペ・モウラは紛れもなく、敗北から学ぶ。生きることは、飛び方を知ること。

静寂の奥で、金属的な足音が響く。孤独なバケツ、雑巾拭き。冷たい大理石、ささやく壁。一滴、また一滴と時が流れていく。

一筋の光がガラスに反射し、星と深淵に迷い込んだ顔が浮かび上がる。ピアノの調べが響き、まるで飛び込みのように私を息苦しさから救ってくれる。道路では舗装路が待ち、ヒレは深い虚空を泳ぐ。

深い海の中で、する。消えゆく幻想、異なる瞬間。海は色彩を失い、人生という舞台の俳優となる。

ギフトパーティー、ベッドの上のバジャマ、こぼれたベッド。風景のない発泡性のイメージ。

涙もルールもない、明確な変換。無の中の断片、成長しない物語。

届かない矢、結び目の縄。私は時間を曖昧にして書く、海に浮かぶ糸、顔に触れる感触。時を超越した罪、暖かい太陽、地面に落ちた雫。

人生のダイビングでは、冒流の後に自由が訪れる。舞台と幕の間で、私たちは予感と現実を体験する。砂上のライフガード、未完のソネット。感じることは存在すること。

夢と予感の狭間で、私は砂の中に飛び込んだ。人生は彗星だ、

いつもくだらないわけではなく、想像力のダンスなのだ。

一步一步下ることは、未知への一步である。虚無の中で、冷たい川は見えないものを目覚めさせる。

欲望のキス、ひび割れる視線。真実の船に乗って、私たちは心とともに冥王星へと航海する。

狂気と正気の出会い。存在する強さ、それは常に心と結びついている。

夢の箱の中で、私は川の流れの中に城を作る。その一步一步が、信じるダンスの一步。難破船の中で、あなたは私のボートだった。誰も入りたがらないリビングルームで。一礼して、平和を祈る。

私たちの断片が、壁とピアノの音符の間で、不可能を演じている。愛は映し出される。

私たちを取り囲む痛みは、深く独特で、突き刺さった心をあらわにするまなざしのようだ。見えない鎖が私たちを束縛する、病んだ暗い魂。感覚を揺さぶる塵、自己の迷宮。

沈んだ流れ、壊れた日の無気力。燃え上がる炎、燃え上がる心、飼いならされるのを待っている放し馬。この無限の時間の中であなたを感じ、包み込む過去を渡る。魔法のような再会、ただあなたを見て、あなたを見て...

私は海に迷い込み、夢の中に飛び込んだ。影と幻想の間をさまよい、現実に目覚める。夢遊病の夢想家は、常に別の作品を探し、無限の線を描いている。

絡み合う想い、心の鎖のように。私は空気の呼吸、水の上の雨、完璧な相手を探している。しびれるような愛、柔らかくて甘い。

待っているブーツ、決して解けないリボン、仲間の靴。

永遠の警戒の中で、それは始まる。反対意見の恐怖が沸騰し、心と創造を麻痺させる。しかし、その痕跡には希望がある。

blooming green: 激しく生きる!

愛は深い海であり、欲望と征服の波である。私は心を羅針盤として、石と冷たさの間を航海する。夢の断片、決して繰り返されることのない足跡。風が秘密をささやく、そして海はメロディーを歌う。ただ愛だと心は言う、そして世界は変わる。

魂の道では、精神は感情の迷宮に身を置くことになる。心は苦しめられながら安らぎを求め、肉体は時の重みを感じる。しかし、魂の純粋さは揺るぎない壁であり、強く、抵抗力がある。人生の病を乗り越え、混沌の中に調和を見出しながら、共に歩もう。

思考は想像力の液体であり、魅惑のほとばしりである。無意識の意識が魔法に侵される中、狂気は調和のビームを支える。生きることは純粋な美となる。言葉と感情の間に無限の断片が広がる。思考を喚起し、常に想像し、存在することを優越化する。

静けさが支配する黄昏時の友情。柔らかな感触、流れるエネルギーを感じる。情熱よりも強い、純粋な愛情。

学びとは、言葉を七つの海に運ぶ風のように、まばゆく魅力的な、果てしない飛翔である。書かれた一行一行は魂のかけであり、飛んで想像する思考であり、常に存在している。成長することは学ぶことであり、それは動き回る詩のように一瞬一瞬を生きることなのだ。

生きるとは、揺らぎを感じること、外見に従わない微笑みを感じること。激しい衝動の獐犷さは、ただの悪い瞬間に過ぎない。心のピアノを弾きながら、荒れ狂う雲の上を飛ぶ。トンネルの中の光が道を照らす、人生は導かれるものだから。

深い愛、苦しい愛...。心の奥底で感じ、そして忘れる

負けた。悔やんでも悔やみきれない。

生命のサイクルの中で、線と限界の間で、未知の仮面が姿を現す。私たちは生まれ、生き、そして時の息吹の中で終わりをを見つける。しかし、それは本当に終わりなのだろうか？それとも新たな始まりなのか？

色褪せることのない愛の記憶。あなたのために、私は苦しみ、感じ、愛し、生きてきた。キスした他の女性を愛したことはない。あなたの中に、いつも忘れられない愛を見つけた。

深い感情、痛みと欲望の間のダンス。死ななかった。あなたのために書き、あなたのために生きた。私を通して、愛と詩だけを。

恋の瞬間、遠くにいるようで、すでに恋人。ある日ひとりぼっちで、愛から遠く離れているが、いつも存在している。

鏡の中の反映

時には、映し出されたイメージの向こう側を見なければならぬ。鏡などなくても、真の反射は私たちの中に生まれる。

快晴の夜

暗い夜、あなたの存在の光が夜明けのように照らす。あなたの魅力の歌は、自由を求めて飛び立つ鳥の口笛のように響く。

書くことは私の自由であり、ペンは紙の上で踊り、思考は高く舞い上がる。私は、自分を満たす言葉だけを追い求める。

果てしない旅、風の静寂の

中で。

すべては無であり、無はすべてである、
私たちは去るとき、感じたものだけを持ち帰る。

奈落の底が見え隠れする崖つぶち。終わりか、新たな始まりか。

奈落の、その果て。欲望と不安の断片が、夢と煙の間を飛び交う。人生の不安なダンスの中で、いつも待ち、いつも欲している。

私は人生の梯子を上り、目的地を考えたが、結果は私を驚かせた。光と影の間で、私は自分の意志で操縦した。ゆっくりと登り、落ちることなく降りた。

インスピレーションへの渴望、直感の爆発。魂を満たす美しい思考。水筒から一口飲めば、すべてが壮麗になる。

存在とは果てしない謎である。その先に響く言葉、
恐るべき勝利者、。行きたくないから、存在し続ける。

太陽は夜明けに輝く、
夕暮れの優しい悲しみ。私は生き、私は追体験
し、私は生まれ変わる、
私は力強い太陽であり、いつも輝いている！